

「芸能の宝庫」と言われる沖縄。中でも、琉球王国時代から受け継がれて来た歌舞劇「組踊」と、変遷を遂げながら発展して來た「舞踊」は、琉球芸能の代表です。

「組踊」は、男性が演じる芸能として確立しました。一方で、「舞踊」は戦後、社会の変化と共に女性が活躍し、新しい世界を切り拓いて來ました。

今年は、沖縄本土復帰50周年の節目の年。それを記念し、横浜能楽堂企画公演「男の組踊 女の舞踊」を開催します。

第1日は男性舞踊家の「組踊」、第2日は女性舞踊家の「舞踊」を上演します。昨年、「琉球舞踊」で初めて「人間国宝」に認定された宮城幸子・志田房子を始め、第一線で活躍する舞踊家・演奏家が顔を揃えます。

第1日



組踊「二童敵討」東江裕吉
撮影：神田佳明



組踊「女物狂」新垣悟
撮影：大城洋平

組踊「二童敵討」

あまおへ：川満 香多
鶴松：東江 裕吉
亀千代：田口 博章
母：新垣 悟
供一：佐喜眞一輝
供二：知花 令磨
供三：嘉手苅林一
きわらばやしち：下地心一郎

組踊「女物狂」

盜人：玉城 盛義
亀松：富島 花音
母：新垣 悟
座主：嘉手苅林一
小僧一：佐喜眞一輝
小僧二：下地心一郎
童一：宮城 琴羽
童二：比嘉 心愛
童三：渡名喜苅英
後見：知花 令磨

地謡
歌三線：西江 喜春
仲嶺 伸吾
花城 英樹
玉城 和樹
箏：名嘉ヨシ子
笛：大湾 清之
胡弓：新垣 俊道
太鼓：比嘉 聰

立方指導：宮城能鳳

第2日

創作舞踊「真津がま」山川昭子、大城直江

創作舞踊「南洋浜千鳥」皆川律子
「金細工」志田真木、東江裕吉、志田房子
「花風」宮城りつ子



古典女踊「諸屯」志田房子
撮影：神田佳明

古典女踊「本貫花」佐藤太圭子

古典女踊「作田」金城美枝子
「天川」谷田嘉子
「諸屯」志田房子
「稻まづん」宮城幸子



古典女踊「稻まづん」宮城幸子
撮影：大城洋平

地謡

歌三線：西江 喜春
仲嶺 伸吾
花城 英樹
玉城 和樹
箏：名嘉ヨシ子
笛：大湾 清之
胡弓：新垣 俊道
太鼓：比嘉 聰

組踊「二童敵討」(にどうていちうち)

あまおへに父・護佐丸を殺された鶴松・亀千代兄弟の仇討を描いた作品。あまおへが威厳を示して見得を切る場面や、踊り子に扮した兄弟の美しい踊りなど、見どころが多く、組踊の人気作の一つです。

組踊「女物狂」(おんなものぐるい)

子どもをさらわれて正気を失った母親が、絶命の末に無事子どもと再会を果たすまでを描いた作品。子を想う母親の情愛が描かれた組踊の名作です。

創作舞踊「真津がま」(まちやがま)

谷田嘉子・金城美枝子により創作された舞踊。実在したと言われる美女「真津がま」に心を寄せる男性二人のつのる思いをコミカルに表現した作品です。

創作舞踊「南洋浜千鳥」(なんようはまちどり)

数々の歌劇や舞踊を創作した伊良波尹吉が南洋群島への慰問公演の際に創作した舞踊。「浜千鳥節」を軽やか且つ哀愁深くアレンジしており、異国情緒を漂わせる作品です。

雜踊「金細工」(かんぜーくー)

放蕩者の金細工(鍛冶屋)の加那兄と遊女の真牛、真牛の抱え親の阿母が織りなす滑稽話を描いた舞踊劇。三者三様のキャラクターが踊りと歌で表現されます。

雜踊「花風」(はなふう)

愛しい人の船出を人知れず見送る遊女の様子を描いた雜踊の傑作。鮮やかな手布と藍傘を持って踊られ、恋人と別れる遊女の悲しい心情が表現されます。

古典女踊「本貫花」(むとうねちばな)

庶民の娘が愛しい人に花を贈る恋心を描いた作品。紅白の鮮やかな貫花(花を糸に貫いたもの)を肩にかけたり両手に持ったりしながら踊られる可憐な一曲です。

古典女踊「作田」(ついくてん)

南国・沖縄で一服の涼を与えてくれる扇に感謝の念を込めて踊られる作品。唐団扇を使った所作が優雅で、沖縄ならではの風流を感じさせます。

古典女踊「天川」(あまかー)

愛する人と契りを交わした女の喜び、心の躍動が描かれた作品。古典女踊の多くの作品で小道具を使いますが、本作では何も持たず、手踊りのみで表現します。

古典女踊「諸屯」(しゅどうん)

女踊の中でも格式の高いとされる「古典女七踊」の中でも最高傑作とされる曲。満たされぬ恋に悶々とする女心や、つれなさ、寂寥感を、抑制された所作で表現します。

古典女踊「稻まづん」(いにいまづいん)

五穀豊穣に感謝し、翌年も続く幸せを予祝するおめでたい踊り。果報・豊年・豊饒などの祝儀的な要素があり、稻穂を持って踊ります。



東江裕吉 (あがりえゆきち)
沖縄県立芸術大学大学院修了。玉城流玉扇福珠会師範。琉球舞踊を玉城静江、組踊を宮城能鳳に師事。



田口博章 (たぐちひろあき)
沖縄県立芸術大学大学院修了。安座間本流扇惠美会師範。屋宜恵美子に師事。



新垣悟 (あらかきさとる)
沖縄県立芸術大学卒業。宮城本流鳳乃会師範。宮城能鳳に師事。



佐藤太圭子 (さとうたけこ)
太圭流家元。島袋光裕に師事。1983年文化庁芸術祭優秀賞受賞。重要無形文化財「琉球舞踊」総合認定保持者。



金城美枝子 (きんじょうみえこ)
玉城流扇寿会家元。大嶺朝章の後、玉城盛義に師事。1993年文化庁芸術祭賞受賞。重要無形文化財「琉球舞踊」総合認定保持者。



谷田嘉子 (たにだよしこ)
玉城流扇寿会家元。玉城盛義に師事。1993年文化庁芸術祭賞受賞。重要無形文化財「琉球舞踊」総合認定保持者。



志田房子 (しだふさこ)
重踊流初代宗家。玉城盛重の後、玉城盛義、島袋光裕、真境名佳子らに師事。1992年文化庁芸術選奨文部大臣賞など受賞。重要無形文化財「琉球舞踊」各個認定保持者(人間国宝)。



宮城幸子 (みやぎゆきこ)
真踊流佳幸の会会主。真境名佳子に師事。重要無形文化財「琉球舞踊」各個認定保持者(人間国宝)。



西江喜春 (にしえきしゅん)
安富祖流絃聲会師範。宮里春行に師事。重要無形文化財「組踊音楽三線」各個認定保持者(人間国宝)。



比嘉聰 (ひがさとし)
光史流太鼓保存会師範。島袋光史に師事。重要無形文化財「組踊音楽太鼓」各個認定保持者(人間国宝)。